

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 15 日作成)

| | | |
|------------------------------|---|--------------------------------|
| 小委員会名 | サステナブル・ビルト・エンバイロメント研究 小委員会 | 主 査 名：加用 現空 就任年月：2021 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 地球環境委員会 | 委員長名：野城 智也 |
| 設 置 期 間 | 2021 年 4 月 ～ 2023 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | 日本建築学会におけるサステナブル・ビルディングの概念は 1998 年に提案された。その間、各種技術開発や CASBEE に代表される環境性能認証制度の普及、建築物省エネ法の施行など、建築分野におけるサステナビリティに向けた意識は醸成されつつある。近年のサステナビリティは、建築物単体にとどまらず、街区や地域など、広域範囲との相互連携アプローチが重要になりつつある。本小委員会は、サステナビリティを考える対象を、構築空間の総体を意味する Built Environment へ拡張し、その構成要素としての建築物のあり方について、議論・検討することを目的とする。 | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無： | |
| | 主査：加用現空 (東京都市大学) 幹事：樋山恭助 (明治大学) 委員：伊藤雅人 (三井住友信託銀行)、今井康博 (大林組)、大岡龍三 (東京大学)、大村紋子 (納屋)、亀井未穂 (地球環境戦略研究機関)、高口洋人 (早稲田大学)、田村雅紀 (工学院大学)、塚田敏彦 (NTT ファシリティーズ総合研究所)、横尾昇剛 (宇都宮大学)、増田忠史 (愛知産業大学) | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | | |
| 2021 年度予算 | 80,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無 |

| 項 目 | 自 己 評 価 |
|---|---|
| 委員会開催数 | 2 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画 | |
| 大会研究集会 | 地球環境部門 PD3 「Sustainable Society のための建築と都市」 参加者数 89 名 |
| 対外的意見表明・パ ブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係) | 1. 計画していた研究協議会を開催し、情報発信と議論を行なった。 2. 小委員会内の活動は、委員の予定が合わず活動できなかった。来年度に実施に向けてメールベースで意見交換を行ない、活動形態を議論している。 |
| 委員会活動の問題点 ・課題 | 1. オンラインになり、まとまった議論を行なうことが難しくなった 2. 専門家を招いた小委員会内講演 (話題提供) を行なっているが、学生などにも開かれた活動となるよう、運営方針を検討中である。 |